



法人運営目標

新たな法人の役割として、安心・安全な「居場所」を創造し、運営します。コロナ禍で、人と人との繋がりが難しくなり、孤立する人が増えています。私たちは、私たちの施設が高齢者や地域の人たちそして職員にとって安心・安全に集える「居場所」として機能しているかを再考します。そしてアップル学園前が、人々にとって自立と尊厳を守る「居場所」の一つであることを自覚し、業務を改善します。さらに、サロンや講演会のみでなく仮想空間も含めた新たな「居場所」を提案します。また、人材の育成に力を入れ、積極的にICTの利活用を行い、未来のアップル学園前を創造していきます。



法人運営指針

1. 居場所づくり
各事業、各部門で「居場所」を定義し、「居場所づくり」として何ができるのか、考え、実践する。
2. 業務の改善
ICTや介護ロボット等の導入を検討しつつ、業務効率化・生産性向上に取り組む。
3. 人材育成の積極化
居場所づくりの土台であるサービスの質の向上を図るために、人材育成を積極的に行う。それぞれの部署で必要となる育成項目は異なるので、それぞれ検討する。
4. 自然災害発生時におけるBCP（業務継続計画）の策定
令和3年介護報酬改定において、災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から、全ての介護サービス事業者を対象に、業務継続に向けた計画等の策定、研修の実施、訓練（シミュレーション）の実施等を義務づけられた。
当法人の各事業において、自然災害発生時のBCPを策定する。
また、昨年度策定した新型コロナウイルス感染症発生時におけるBCPについても、ブラッシュアップして、研修や訓練を実施する。